

平成26年12月1日

留学生各位

国際文化研究科長

公益財団法人かめのり財団平成27（2015）年度大学院留学
アジア奨学生の募集について

このたび公益財団法人かめのり財団から、標記の募集案内が下記のとおりありましたので、お知らせします。

本件への応募を希望する者は、平成27年1月13日（火）17:15までに必要書類を教務係まで提出してください。

1. 支給金額 博士(後期)課程 月額20万円
2. 支給期間 博士(後期)課程 3年以内
3. 応募資格 以下のすべての条件を満たす者とします。

①専攻分野が人文・社会科学系で、本研究科に学籍がある私費留学生

②下記の対象国・地域の出身者

中国本土、香港、台湾、韓国、ブルネイ、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム

③平成27年3月に博士課程前期2年の課程修了予定の者で4月から博士課程後期3年の課程に進学予定の者

(応募時に合格が決定していなくとも応募できるが、結果が不合格の場合は、辞退することとなる。10月進学予定者は対象とはならない。)

④日本語でコミュニケーションがとれる者

⑤財団が主催する行事等に参加・協力できる者

* (採用された場合) 4月4日(土)の奨学金授与式に出席できる者

⑥平成27年4月以降、他の奨学金を受給しない者

4. 提出書類

- ・奨学生願書(指定書式A: 自筆で記入)
- ・奨学生推薦書(指定書式B: 指導教員に記入いただくこと)
* 推薦書に任意様式での提出可(PC作成可) 但し、指定様式Bに指導教員に自筆で署名してもらうこと。

- ・ 学士課程の成績証明書の写し
- ・ 経済状況調書
 - * (採用された場合) 合格決定後：博士課程後期3年の課程合格通知書写し

注) 本学から推薦され、書類選考を通過した者は2月27日(金)東京にて面接試験があります。

6. その他：奨学生に採用された場合の留意事項等
財団の募集要項 (<http://www.kamenori.jp/daigaku.html>) によりご確認ください。

留学生の皆さま

奨学金申請書の書き方、及び面接を受ける際の心得について

奨学金申請書類について

- ・項目は全て記入すること。
(特に記入することがない欄にも「なし」金額なら「0」等記入して下さい。)
- ・学部・研究科名は省略しないこと。
- ・黒ボールペンで記入すること。
- ・事実に従って記入すること。(収入・支出について(見込みの場合は除く))
- ・わからない所は、指導教員または各奨学金担当部局担当係に問い合わせ願います。
- ・最後に記入・提出書類の漏れがないか再度確認して下さい。留学生の皆さまが作成された書類で採否が判定されますので、内容が相手にしっかり伝わるよう明確に記入して下さい。申請書に事実と反することが書いてあると判定に不利となりますので十分注意して下さい。

面接について

- ・第一印象はとても重要です。最初と最後のあいさつはきちんとしましょう。また面接に相応しい服装(スーツ(ジーンズ厳禁)、男性はネクタイ着用)で臨みましょう。
- ・想定される質問(自己紹介、日本留学の理由、何を勉強・研究しているか、奨学金の使い方等)の練習をしましょう。
奨学金申請書類は事前にコピーをとり、記載した内容についてはしっかり答えられるようにして下さい。たとえ難しい質問でも日本語の間違いを恐れず、一所懸命に自分のことを伝えましょう。
- ・面接会場の事前確認をし、集合時刻の遅くとも5分前には会場に着くようにしましょう。
- ・持ち物
奨学金申請書類のコピー、筆記用具、手帳やノート、学生証、在留カード、ハンカチ、ポケットティッシュ(その他必要と思えるもの)

採用後の心得について

手紙・Eメールの出し方について

- ・すぐにお礼の手紙(またはEメール)を出して下さい。
- ・Eメールで連絡する場合は、用件のみではなくあいさつ・近況報告など相手に失礼のないよう注意しましょう。

その他

- ・交流会等財団が主催する会には必ず出席して下さい。
- ・問い合わせがあった場合は、自分の都合だけを考えず相手の立場にたち丁寧な対応を心がけましょう。
- ・総長特別奨学生で民間奨学金に採用された方は、授業料免除申請ができない場合があるので、必ず各学部研究科奨学金担当係に確認して下さい。

皆さまは奨学財団にとって東北大学の代表者であることを自覚し、相手に失礼のない態度を心がけて下さい。